

日高地区概況

令和5年7月1日現在
世帯数 9,396
人口 21,517
男 10,511
女 11,006

※この概要は日高支所管内の統計による



第213号

発行日 令和5年7月20日
発行 日高学区市民自治会
http://www.net1.jway.ne.jp/hitaka.com/
代表者 志賀 勝 弘
編集責任者 木田 源 一
印刷 お ぎ つ 印刷

支部懇談会 開催

町内会の存続に不安の声
ご近所で挨拶ぐらいいは...



地域の状況を熱心に紹介する民生委員さん

させている。現在地に引越してきて入会したが、何かと助かった。子供を仲立ちにしてつながるようになったらよいのではないかと、せめてご近所さんで顔を合わせたとき、挨拶もできない関係にはなりたくないなど、町内会の存続に前向きな意見も見られました。

のごみや空き缶、空き瓶拾い、側溝清掃を行いました。西町岩本地区では古くなった木製のごみ箱も防錆剤を塗りなおすことで新しくよみがえりました。今年集められた草や泥が例年より早く業者に回収されて好評でした。

交流センターも清々しく

続く6月10日には、雨の為に1週間延びた交流センターの草刈りが実施されました。交流センター利用者団体や日高学区市民自治会の有志の皆さん87人が朝早くから参加して、暑いなか敷地や周辺の草刈りに熱心に取り組み、交流センターがきれいになりました。

地域を潤す東連津川も

これに先立つ5月27日に、東連津川をきれいにする会による流域の草刈りと清掃が行われました。高い気温と勢いを増す雑草のなか、会員54人がきつい作業に取り組みました。志賀会長自作の梅干が振舞われる等、熱中症にも配慮して実施され、清掃後の川沿いの道は快適な散歩道に生まれ変わりました。

はじめとしました梅雨の時期に少しでも気持ちよく過ごせるように多くの人が一生懸命作業に参加しました。高齢化により、参加者の減る傾向にありますが、日頃から地域に住む皆さんで協力して、より住みやすい日高を作り上げてゆくことの大切さを改めて感じさせる行事でした。

行事予定

(7月21日～9月20日)

日高学区市民自治会

- 再生資源拠点回収
7月23日(日) 8月27日(日)
東連津川清掃活動
7月22日(土) 9月2日(土)
東連津川各流域
○民話教室 7月26日(水)
「地元」に伝わる民話
語りべ ひたか民話の会
日高小学校児童クラブ
○日立市 市政出前講座
「日立の気象」
講師 日立市役所環境都市推進課 天氣相談所 池田恵介氏
7月30日(日)
PM11:30
日高交流センター
日高おんもさ祭り
8月6日(日)
日高つ子体験村
8月21・22日(月・火)
日高クリンアップデー
9月3日(日)
○日高学区敬老会(中止)
9月18日(月・祝)
日高交流センター体育館

役員会報告

- 6月12日の役員会で次のことを協議しました。
*おんもさ祭りの開催
*日高学区自主防災訓練
*支部懇談会開催
*日高小・中あいさつ運動
*日立市 市政出前講座「日立の気象」の実施
*福祉の事業関係
避難行動要支援者、安心安全ネット 名簿の確認作業他

日高おんもさ祭り

総力開催 8月6日

現在、地域住民や小学生、協力団体に声をかけ、総力体制に向けて準備を進めています。今年のおんもさ祭りは、従来の祭りの賑わ

を取り戻し、地域の絆と誇りを高めようとの意気込みで開催します。ゲスト出演は、日本一に何度も輝くけん玉師や、世界に通じるパ



清掃に励む人々

毎に、道路沿いに決められた場所の除草作業や地域内

『地域で声掛けを』

災害想定防災訓練

日高学区市民自治会の自主防災訓練が6月24日、日高交流センター体育館で実施されました。

日立地方に大型地震が発生したことを想定して、市民自治会自主防災組織の機能訓練、避難行動要支援者



防災士による災害減災ビデオの説明

安否確認訓練、避難困難者の避難支援訓練、支部役員による危険箇所報告訓練などのほか、AED操作講習、茨城トヨタ(株)日立北店の協力による災害時対応の車両の展示もありました。

日立市防災課、日高支所、北部消防署、第5消防分団、日高交番、日高小学校からの参加もあり、総勢200人以上参加した訓練でした。

会場では、市民自治会の3名の防災士(松原洋一、志賀隆良、瀬和直己)が紹介され、災害減災についての説明がなされました。

また、支部からは支部長自治委員が参加し、地域の危険箇所について、約30件の報告がありました。



救護・給水・避難支援

要支援者が生活しています。訓練では2名の避難支援を行いました。

訓練の終わりにはそれぞれの防災班が報告を行い、期待されたとおりの訓練ができたことを確認しました。

日立市防災課から「地域で声を掛け合い、互いに助け合うことが災害時には大切だ」と講評がありました。参加者には、災害時を想定した炊き出しによる大鍋で煮込んだ豚汁、醤油だしのおにぎりが配られました。

文化協会体験教室 開催される

去る6月25日の午後、日高交流センター2階の会議室で日高文化協会主催の体験教室が開催されました。この日は、お琴、色鉛筆の絵画、切り絵の3つの体験講座が2つの会議室で催され、30名ほどの参加者がそれぞれ興味を持つ講座に分かれて、講師の皆さんから



先生が手をとってやさしく演奏

指導を受けていました。この教室を主催した日高文化



お手本をもとに色鉛筆絵画

協会会長の、小澤邦子さんによると、今回の教室は昨年



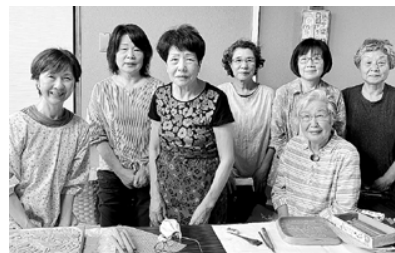
切り絵の手順はこうです

この体験をきっかけに日高学区の皆さんが美術や芸術に親しむようになって欲しいという願いから始めたそうです。

お琴と色鉛筆の絵画の会場内では、お手本に渡された絵を見ながら集中して作品作成に取り組み子供や持ち込まれた4竿のお琴の音色、そして参加者の皆さんの話し声が和気あいあいと響いていました。

小さな輪 大きな輪

木ぎの会



わきあいあいと活動しているメンバー

鎌倉彫りは、器やお盆、文箱など木に彫刻刀で草花などを彫って漆を塗った日本の伝統技術です。木ぎの会は平成6年に日高公民館時代の「うるおい講座」をきっかけに立ち上がった団体で、月1回横浜から講師の金井伸子さんを迎えて6名で活動しています。制作したいものを選び、図案を考え、彫り、最後に漆を塗りますが、皆さん図案を考えたり、彫る時間が何より楽しいと言います。先生に彫り方を教えてもらい、いかに生き生きと草花を彫れるかに集中して(仲間とおしやべりも欠かせませんが)いる姿がとても楽しそうでした。彫る以外でも旅行なども楽しんでるそうです。会員募集中の事ですので、興味のある方は一度見学してみても如何でしょうか? 活動日は毎月第二水曜日10時~16時日高交流センターにて。代表・小澤邦子さん (菊池理可子)

「おはよう」 元気に挨拶

日高小中あいさつ運動 登校する日高小、中学生と朝の挨拶を交わす「あいさつ運動」を中学校が6月8日、小学校が6月15日、いずれも学校の校門において「おはよう」「おはようございます」と元気に挨拶を行いました。

日高小のPTA役員・児童、日高中の生徒代表・先生方と共に、日高学区市民自治会からも本部役員十数名があいさつ運動の旗を持参して参加しました。小学生のあどけなさの残る屈託のない挨拶が多いのに対し、中学生は少し恥ずかしさを交えた大人びた挨拶が印象的でした。

いづれにしても日高学区の小中学生の皆さんが他人の気持ちを理解する優しい大人に成長していつてほしい、未来を担う若者に育ってほしいと思いました。勉強に、運動に「頑張れよ」とエールを送ったひと時でした。



今日も元気に「おはようございまーす」

今年度は安否確認訓練及び避難支援訓練を実施

6月24日の日高学区自主防災訓練において、社会福祉委員会では、安否確認訓練及び避難者支援訓練を行いました。



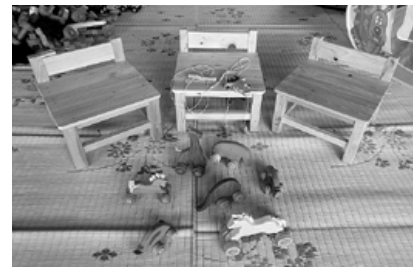
避難場所への移動訓練

平素の要支援者訪問活動を担う45人の支部福祉協力が、日立市避難行動要支援者名簿に登録している約200人の高齢者や障害のある方のお宅に訪問し、支援物資を配付しながら、災害時についての備えを聞き取り調査しました。家具などの転倒防止、食品類の備え、懐中電灯やラジオの準備など何かしらの対策をしていることが伺えました。

心温まるご寄付をいただきました

日高学区では就園前の親子を対象に日高交流センターで毎月第1・第3水曜日の午前10時から、おもちゃライブラリーを開催しています。このたび、木製品を手掛ける小木津町にお住いの方(匿名希望)から、おもちゃライブラリー宛に手作りの可愛らしい木のおもちゃと、木の椅子が届きました。

した。子どもたちが安全に遊べるように配慮されたおもちゃと、子を見守るお母さん用の椅子です。温かい、ご厚意に感謝申し上げます。また、日高学区の福祉活動に役立ててくださいと、日高写真会、ここにクラブ有志の会、小木津町の佐々木孝博様からも善意のご寄付をいただきました。頂いたご厚意は、日高学区の見守り活動、介護予防体操、サロンなどの高齢者や障害のある方の支援、おもちゃライブラリーなどの



丸みのあるおもちゃと椅子

子育て支援事業等に有意義に活用させていただきます。

のか」も併せて聞き取りをしました。

また、災害発生を想定し要支援者避難支援訓練を実施しました。自主防災本部から指示を受けた福祉協力が、安否確認の訪問したところ、被災し避難所への移動が必要だが、歩行困難により自力での避難が難しいと想定したものです。今回は2名の要避難者を避難場所の体育館へ避難誘導し訓練を行いました。

実際に大規模災害が発生した場合、福祉協力員は自身や家族の安全を確保した上で安否確認活動をするのが大原則です。災害時における減災の8割は、自助と共助で対応できると言われていて、自助は災害に対する備え、共助は隣近所への声掛けや支え合いです。災害時は誰もが被災者、先ずは隣近所を声を掛け合い、お互いの安否をいち早く気遣うことが大切なようです。

ホウ酸団子教室開催

6月6日、健康推進部主催の「ホウ酸団子作り」教室が約20名の参加で開催されました。「市販の退治薬よりよく効く」と、毎年この教室を楽しみにしている参加者もいました。

出前寄席

6月30日の午後、日高交流センター2階の会議室で日立市民科学文化財団主催の出前寄席が久しぶりに開催され、会場には浴衣姿の女性を含め50名近い観客が詰めかけました。会場正面には赤い毛氈と座布団の敷かれた高座と寄席文字で演者の名前が書かれた「めくり」が置かれ、寄席の雰囲気醸し出されていました。



観客を魅了する左橋の話芸

この日は、文化庁芸術祭で優秀賞を獲得したこともある実力家左橋の一人、初音屋左橋と若手家原の金原亭駒平の二人が出演しました。真打の左橋は、嫁をもらった長屋の住人の一人をお化けで驚かせようとする仲間たちの騒動を描く「不動坊」と、大店の若旦那の病を高価なみかんて直そうとする

「千両みかん」の二話、また前座の駒平は、見栄っ張りの兄貴が読めない手紙を弟分に読んで聞かせようと四苦八苦する滑稽話の「手紙無筆の合わせて二話でした。さすがに実力家両名の落語に会場は終始観客の笑い声が満ち、日本の話芸に堪能したひと時となりました。

郷土ひたか (23)

小本津三大地蔵 (安良宿西のお地蔵さま)

小本津駅西口を出て山側に向ってほど近く、旧国道の向こう側にそのお地蔵さまが立っています。足元には誰が手付けたのか、綺麗な花が活けられており地元の方々に大切にされていることが伺えます。近所にお住いの渡辺義之さんにお話を伺うと、ご自身が子供だった60年ほど前、このお地蔵さまとその奥手にある愛宕神社をお祀りする安良宿



お地蔵様と地域のつながりを語る渡邊さん

では、子供たちを中心としたお盆の夜典祭や婦人たちの集まりの地蔵講などが行われていたそうです。今でも地区の氏子役員を中心に祭事を執り行っているものの、当時の若衆会もなくなり、かつての賑わいは失われてしまったとのことでした。

「日立の石仏」より
小本津駅を下車して、50メートル歩くと旧国道に出る。その旧国道に面して地蔵菩薩像が立っている。その後の小高い岡には愛宕神社が祀られている。地蔵菩薩の所在地は、日立市小本津町341番地で、この地にほぼ東方向き、高い三重になった台石上に立つ。

像高135センチ、蓮華座の高さ28センチ、その下に高さ25センチの円形の受座があり、この受座には三界万霊六道衆生の8文字が刻まれている。最下部の台座は、方形で、万物を育成する五元素のひとつである地を形どる台座である。近くには、正徳五乙未年(一七一五年)、文政11年(一八二八年)、嘉永2年(一八四九年)等に建立された碑が数基立っている。また道路のいりぐちには、西域供養塔も立っている。地蔵菩薩の石は寒水石のため相当度の風化損傷が見られる。小本津地区には、この種の地蔵尊が3軀あり、むかしから小本津三大地蔵の名称が残っている。

祭り地域に賑わいを 山津波の風流物を公開



投げ餅に大歓声

好天に恵まれた5月4日と5日に、小木津浜で地域の道路拡幅の祝いも兼ねて、4年ぶりに祭りが開催されました。郷土芸能保存会（会長小野篤さん）の14名が核となり、支部自治委員、婦人会、おげんぎクラブ等の協力で実行委員会を発足させて実現したものです。初日の4日は宮司さんのお祓いに始まり、夕刻には3年前に再建した津神社で灯籠を点す幻想的な宵祭りとなりました。



わっしょい！わっしょい！

次の日は太鼓の響きと子供たちの掛け声にあわせて、堤防沿いの道路で山車を引き、風流物を2箇所で開催しました。横笛の音色にあわせて、舞台で5基の人数が巧みに操られ、回転して違う人物が登場する場面では拍手喝采が起きました。最後には投げ餅もあり、小野会長は「地域の方々の協力があって多くの人が集い、やってよかった」と満足そうな笑顔で語っていました。

あの人 この人

日高町
小野セツ子さん
(79歳)



今回は、日高学区市民自治会に健康推進部の幹事として長年携わり、このたび退任された小野セツ子さんにお話を伺いました。

山を愛し花愛でる
立市で最初の健康推進講座を受講しました。これが縁となり受講仲間と山歩きの家「六の会」を立ち上げて現在も活動しています。自治会や山仲間とのつながりでたくさんの方を学び、ご自身も成長できたと話しています。

お孫さんの高校野球を応援したこと、米大リーグで活躍したことから野球が好きになり、米大リーグで活躍

中の大谷翔平選手のファンでもあります。多くの山で素晴らしい体験を得て、生まれ変わった山小屋の住人になりたいと話す小野さんですが、現在は南静公園でのグラウンドゴルフにもまっています。またひな飾り(吊るし雛)を作る趣味も持ち、2年に1度のペースで高萩の穂積家住宅で作品を披露しています。

最後に「季節の食材を使った料理を、皆さんがおいしく、作っています。これからは元気で楽しく山歩きを続けたい」と語る小野さんでした。(山口 哲司)

日高中学市内総体の結果

- 6月15〜17日にかけて日高市内の中学校の総合体育大会が開かれ、日高中学からは次の団体、個人が7月6〜7日に開催される県北大大会へ出場することになりました。この県北大大会で上位になると、県大会に出場することになります。皆さんの健闘を祈ります。
- ・バスケットボール男子 (優勝)
 - ・バレーボール男子 (3位)
 - ・卓球男子シングルス (7位)
 - ・卓球女子団体 (8位)
 - ・卓球女子シングルス (2名) (18位)
 - ・ソフトテニス男子団体 (3位)
 - ・ソフトテニス男子個人 (優勝、9位、17位)
 - ・ソフトテニス女子団体 (10位)
 - ・ソフトテニス女子個人 (17位)
 - ・剣道男子団体
 - ・剣道男子個人 (3名)
 - ・剣道女子団体
 - ・剣道女子個人 (3位)
 - ・柔道男子個人 (2名) (3位)
 - ・柔道女子個人 (2名) (2位)
 - ・柔道女子団体 (3位)
 - ・軟式野球 (2位)

ストレッチの後は 爽やか気分

6月8日22日、健康推進部主催の健康講座「腰痛予防ストレッチ教室」が昨年に引き続き林康子先生を迎え開催されました。この講



ゆっくりとね

私がお稽古と出会ったのは、小学生のときです。父が打っているのを傍で見ていて自然に覚えられました。その後、就職するまではお稽古とは無縁だったのですが、職場に囲碁部があるのを知り、再び始めました。定石などを覚えて上達すると、ますます楽しくなり、いつの間にか囲碁の魅力にとりつかれていました。

東連津

私が囲碁と出会ったのは、小学生のときです。父が打っているのを傍で見ていて自然に覚えられました。その後、就職するまではお稽古とは無縁だったのですが、職場に囲碁部があるのを知り、再び始めました。定石などを覚えて上達すると、ますます楽しくなり、いつの間にか囲碁の魅力にとりつかれていました。

「囲碁」との出会い

囲碁は盤上で白と黒の石を交互に打ち、相手の地と自分の地の大小を競うゲームです。何も無いところに地を作るための構想を練り、盤上に表現するのですが、相手との境界で衝突が起こります。その折り合いの過程が囲碁の醍醐味です。大会などのほか、インターネットで対局できるのも楽しみの一つです。興味がありましたら挑戦してみてくださいいかがでしょうか。

日高町 富岡 日出生

編集後記

かねてから「広報日高」の記事内容・紙面構成等のすばらしさに感心して読んできた。担当されてきた方々の御苦労に頭が下がる。この度、その広報紙作りの一員を担うことになった。浅学非才が故、不安がいっぱいであるが、できるだけ旬なほっこりした情報を視点を変えて切り拓いていければと思う。(豊田)